

【久御山町】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

誰一人取り残すことのない個別最適な学びの実現に向けて、GIGA スクール構想で整備されたタブレット端末を活用して、デジタルドリルの利活用の充実や、広い視野で物事を捉え自分の意見や考えを伝えることができる力の育成と、それを実現するための安心・安全な風土の醸成を意識して学級経営や学年経営ができる学校運営をサポートしていきます。

久御山町では、令和 6 年度の「学校教育の重点」にて、重点項目の一つとして「ICT 活用能力の育成」や「言語力と自己指導能力を一体的に育成する」ことを目標としています。

この目標の実現に向けて、学校や生徒の実情を踏まえた上で、ICT を活用「新たな教材やアプリ、学習活動を積極的に導入、個別最適な学び等」し、児童生徒の資質・能力の育成を推進していきます。

2. GIGA 第 1 期の総括

1、経緯と現状

令和 3 年度より、全児童生徒にタブレット端末を配備するとともに、校内のネットワーク整備をしました。子どもたちの日常的な ICT 活用については「全国学力・学習状況調査」の質問紙からも、ICT 機器の活用が増えたと回答している児童生徒が多く、活用が進んでいる傾向にあります。

2、ICT 施策の内容

- ・ネットワーク環境の強化：令和 6 年度にネットワークアセスメント調査を実施し、その結果を基に今後の増強案について今後の方針を協議。
- ・教育支援設備の導入：大型ディスプレイを整備し、ICT 支援員 3 名程度を配置することで、設備環境の質の向上に努めてきました。
- ・学習活動の充実：整備した ICT 環境を活用することで、児童生徒が情報収集、共同編集、意見共有、ICT 端末を用いた発表など、さまざまな学習活動を行えるようになりました。

3、課題

- ・学校間・学級間・教員間の活用頻度の差
- ・教職員の研修機会の確保、IT リテラシー不足

3. 1人1台端末の利活用方策

久御山町では、GIGA スクール構想第 2 期において、端末を更新し、児童生徒 1 人 1 台の端末環境を引き続き維持します。その効果的な利用促進に向けて、以下の取り組みを進めていきます。

また、第 1 期で明らかになった課題を踏まえ、端末の利用や運用の質を向上させるための具体的な対策と改善策を検討していきます。

本町では、教職員による効果的な利活用の研修を進め、頻度の差や利活用の質を向上させ、新時代を担う児童生徒を育むために学習活動を推進していきます。

具体的には、授業支援ツールやアプリやデジタルドリルの活用により、個々の情報収集や情報整理だけでなく、協働的な学びであるグループや集団による意見交換だけでなく、日常的な活用はもとより、様々な困難を抱える児童生徒に対する支援として、オンラインでの授業映像の送信や音声教材、通訳アプリの活用により、個々の家庭状況や不登校対策、個別最適な学びや日本語指導が必要な児童生徒等の学びの幅を広げ、学びの機会の保障や教育の機会均等を確保していきます。

本町の教職員を対象にして、スキルアップや授業改善につながる研修とともに、情報モラル等の道徳的な視点、人権的視点での指導につながる研究や系統的な学びを実践できるよう教育研究会を中心に実施し、校内での周知や普及に努めていきます。